

式辞（国際文化学部・経営情報学部・大学院：於 広島キャンパス）

駆けてきた ほどに娘に 用はなし

「柳多留」にあるこの川柳のように、「あのね、あのね」と娘が走ってくるので、何事かと思うと、「きれいな猫が通ったの」とか他愛もないことです。しかし、可愛いく楽しいですね。嬉しくなります。

そうかと思えば、

算術の少年 しのび泣けり 夏（西東三鬼）

という自由律俳句のように、宿題の算数がなかなか解けなくて、お子様が涙を流しているのを見て、幼いけなげさに、思わず抱きしめたくなったこともおありだったでしょう。

卒業生のご家族と関係者の皆様方、こんなにも可愛くけなげだったお子様が、本日、大学の卒業式・学位授与式を迎えておられます。

お祝い申し上げます。

卒業生・修了生の皆様、おめでとうございます。

ご来賓の方々におかれましては、ご多忙のなか、本学の式典にわざわざご光臨賜り感謝いたしております。そして、変わらぬご支援に厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、ご卒業・ご修了の皆様、あなた方は、この県立広島大学という素晴らしい大学で学ばれましたから、自信をもって、ご活躍ください。

まず、研究ですが、各大学の研究力を示す指標とされる科学研究費補助金は、文系・理系、芸術・体育の広い分野から応募でき、専門家が審査して採択を決めますから、各大学の研究力を示すよい指標とされています。現在、中四国九州沖縄に公立大学は22ありますが、本学は、この科研費補助金の採択件数も金額も、今年度も第1位です。また、全国には国公立大学が、全部で約750ありますが、科研費に採択されている教員の割合をみますと本学は29%で77位です。国立大学は87、公立大学は77で、国公立大学は全部で164ありますから、本学は相当な数の国立大学より上に位置します。また、誰もが一流大学だという一橋大学の29%と同じ率になっています。

次に、地域貢献ですが、日本経済新聞の調査では、本学は14位です。新聞に大学名が掲載されている20位までには東大や京大など旧帝大や、一橋、神戸など旧三商大は1校も入っていませんから、地域貢献では、本学は並みいる一流国立大学より上位だということになります。

さらに、教育では、卒業論文が全学生に必須です。卒業論文では、課題設定、先行研究の涉猟・検討、論証か実証、結論導出、吟味検討、展

望をし、長文の文章にまとめ、報告会で発表します。論文には新しさも必要で、創造性が不可欠です。この全プロセスを行うわけですから、本学の学生は創造性ある学士力を身につけて卒業します。しかし、今日卒論を全学生に必須にしている大学は多くはありません。

ですから、教育、研究、地域貢献を、総合的に勘案すると、本学は現在では、日本でトップ級の大学だといっているのではないかと思います。本学が、このような大学になったのは、学生諸氏の努力、それに、県や県民の皆様のご支援、本学教職員のご尽力によるもので、御礼申し上げます。

皆様は、その本学を、卒業なさるのです。

さて、ご卒業への、饒の言葉ですが、それは、皆様がこれから行く土地や、働く組織を、良いと思い、愛するということです。宮城谷昌光の『風は山河より』（新潮文庫）の最終巻は今年1月の発行ですが、同書は、現在の愛知県、尾張と三河の土地に宿る力が、稀代の英傑、信長・秀吉、家康を育んだとします。そして、徳川家康の祖父のころから家康の覇業がなるまでの、三河の数々の城主・武将たちの生き方が描かれます。無実なのに讒言により失脚し無念の事態を迎えたり、親子兄弟を人質に出し犠牲にされたりする辛さにも耐え、家を守る厳しい戦いの日々が描かれます。そして、人としての生き方、家を預かるものとしての戦略立案、その成功、挫折の数々の人生が克明にたどられます。皆様が生きていける社会では、厳しい事がしばしば起こります。ですから「讒言を避けるには」、「偽りの讒言を見抜くには」、「うまく立ち回るには」、「うまく立ち回り、それゆえに不運に見舞われた場合」、「愚直・誠実に徹した苦節ゆえに大幸運が訪れた場合」等々、心を打ち、参考になる話が次々に展開される同書は、大変参考になります。そして、参考になるだけでなく、同書には「人が家を守り発展させつつ、人として立派に、風韻豊かに生きていくには」というテーマが、底にずっと流れていますので、読むと、励まされ元気がでます。是非、この本をお読みいただき、賢く幸せな人生を送ってください。人は、自分が幸せであると、他の人々にも優しくなれます。したがって、皆様がまず幸せになって、皆様方の専門能力を生かして、他の人々を幸せにしていきたいと思えます。

さて、この『風は山河より』では、三河の土地に宿る力のよさが三河に優れたものをもたらしたとしていいますが、しかし、ここ広島は、現代の日本を考えると、三河を越える大きな力を持っています。

1894年には広島に大本営がおかれ、天皇は9月から翌年の4月まで広島にお住みになり、10月、帝国議会が広島で開かれました。だから、この間約7カ月あまりは、広島が日本の首都だったといえます。広島に宿る力は、なんと日本の首都を呼びこんだのでした。帝国議会があったのは、県庁の東館のすぐ南で、現在、コンビニエンスストアがあり、その駐車場の北西部に説明の碑があります。

それだけではありません。広島から中村憲吉が出ました。憲吉は、「アララギ派」の重鎮で、アララギ派は、平安時代から明治初年までの古今・新古今調の和歌を、万葉調と写実を基本に改革し、短歌の本流となりましたが、それは、伊藤左千夫、島木赤彦、斎藤茂吉、土屋文明、憲吉らの働きによります。憲吉は、控えめでその働きは目立ちにくいのですが、伊藤左千夫のあと、茂吉がドイツ留学中、アララギの凝集力が低下したときに、会をまとめたのは憲吉で、また、茂吉帰国後は、茂吉も土屋文明も何度も島根県境に近い布野を訪れ、憲吉の実家に泊っていますから、広島県の山間の村が日本の短歌の拠点のようになっていたと言えます。

詩は民族の美意識を規定しますから、和歌は日本人の心を決めます。日本で育った人なら、万葉集や百人一首の和歌はいくつも暗唱でき、アララギの短歌も聞くと、「知っている」と思う歌が多いと思います。それらの歌によって、私たちは、どんなときに美しさ、嬉しさ、悲しさ、人の立派さを感じることが形成されています。平安時代以来の和歌を、明治末から大正時代に近代短歌に変えたのですから、アララギは 1000 年に一度の大改革をしたのですが、その中心人物を広島県が育んだのです。

日本人の心だけではありません。日本の経済的豊さを実現したのも広島でした。池田勇人元首相は、竹原市吉名の生まれで、旧制忠海中学校（現在の広島県立忠海高等学校）出身です。池田勇人は 1960 年に首相となり、所得倍増計画を推進しました。計画の発表当時は、そんなことできるわけがないと袋叩きでしたが、実質国民総生産は約 6 年で、国民 1 人当りの実質国民所得は 7 年で倍増しました。規模 10 人から 99 人の企業で働く人の、1960 年の月給は全国平均で 13,850 円でしたが、1966 年には 37,000 円と 2.1 倍になり、今日では、20 倍を超えています。

したがって、広島は、中村憲吉により、日本人の心をきめ、池田勇人を通じて、日本の今日の豊かさを導いたのです。

土地の力は、広島県の産業も発展させました。その結果、今日の広島県の 1 人当たり県民所得は、京都、大阪以西では第 1 位です（2006 年）。製造品出荷額は、中四国九州では福岡県より高く、第 1 位です（2007 年）。

本学で学んだ皆様は、この広島も誇りにしていただきたいのですが、皆様方がこれから行かれる土地や勤務先も、必ず素晴らしいものを持っています。なぜなら、人を惹きつける素晴らしいものがなければ、何年も、何十年も人が集まり続けるはずがありません。雲散霧消するはずですから、皆様は、行った土地、勤務先に必ずあるはずのいい点、優れた点を見つけて、それを誇りにしてください。土地や組織に宿る力が、きっと皆様に、幸運をもたらします。

逆に、この土地はここが悪い、この組織はあそこがよくないと、批判をしていますと、土地に宿る力も、組織に宿る力も、皆様を受け入れません。皆様は安易に、土地や組織を批判せずに、土地や組織の良い点を見つけて褒めてください。きっと、土地に宿る力が皆様に幸運をもたら

すでしょう。

お祝いの言葉を結ぶにあたり、堀辰雄の言葉をあげ、皆様の門出を祝
いたいと思います。

風立ちぬ、いざ生きめやも。

風立ちぬ、いざ生きめやも。

本日は、本当におめでとうございます。

平成 22 年 3 月 23 日

県立広島大学 学長 赤 岡 功